



発行所 ☎730-0012
 広島市中区上八丁堀8番10号
 建設業労働災害防止協会広島県支部
 発行人 高見誠 一
 TEL(082)228-8250
 印刷所 広島市西区東観音町3番8号
 中外印刷株式会社
 TEL(082)291-4646

定価 40円 送料 60円 毎月1回 10日発行 会員の方は会費に「建設防広島」の購読料が含まれています。 7・8月号

広島労働局・建設防広島支部合同パトロール 全国安全週間に実施 労働局長、基準部長が参加

平成27年度全国安全週間（平成27年7月1日～平成27年7月7日）が始まった7月2日、広島労働局と建設防広島県支部の合同パトロールを実施しました。今回は広島駅北地区で施工中の「地域医療総合支援センター（仮称）・高精度放射線治療センター（仮称）合築施設建設工事」の現場をパトロールさせていただきました。当日は広島労働局より星労働局長、倉持労働基準部長、奥原健康安全課長、作田安全専門官、建設防広島県支部から檜山支部長、常任委員4名と事務局長が参加しました。広島合同庁舎における出発式の後、現場に移動し、大成・広成・砂原JVの大戸盛弘作業所長から説明を受けた後、パトロールを

実施しました。報道テレビ等取材も行われました。

転倒防止のための通路の段差表示、熱中症対策、本年7月から全県下で展開することになった、「フィンガー・チェック（指差確認）運動」の掲示や音声ガイド、「うっかり災害防止体操」等に現場の創意工夫がなされていました。パトロール終了後、集まった作業員に対し、星労働局長より、「自分の安全、家族の安心のため、安全活動を全員で進め、竣工まで無災害で乗り切ってほしい。」と励ましの言葉がありました。実施されている様々な防止活動をさらに継続され、工事完成まで無災害を続けていただこうお願いしました。



出発式風景



現場風景



現場風景



局長講話風景

目次	次
広島労働局・建設防広島支部合同パトロール.....1	平成27年度 安全指導者研修会.....5
「建設業フィンガー・チェック（指差確認）運動」 の取組について、県内全域の建設現場に定着を!! 2	災害事例.....6
いよいよスタート! 足場の組立て等特別教育 7月から...3	労働災害発生状況.....7
第49回 広島県建設業労働災害防止大会.....4	分会だより 分会長が交替されました.....7
	講習・行事コーナー （平成27年7月～平成27年9月分）.....8

「建設業フィンガー・チェック(指差確認)運動」の取組について、 県内全域の建設現場に定着を!!

～ 広島労働局が建災防支部に要請～

広島労働局より6月19日付で、「建設業フィンガー・チェック(指差確認)運動」を県内全域の建設現場に展開し、定着させるため、建災防広島県支部長宛に文書要請がありました。

この運動は、建災防広島26年11月号「分会だより」でご紹介しましたが、平成25年の管内の建設業の労働災害が前年の38%増になった広島中央署が、建災防広島分会、広島労務研究会などと検討し、現場における共通の安全活動として分かりやすく、みんなで取り組める「指差確認運動」を進めるため『フィンガー・チェック運動』と命名し、全分会員を対象に取組を進められたものです。その結果、会員の約半数近くの200事業場が、フィンガー・チェック運動に取り組むことを宣言され、27年3月には事例発表会で、多くの現場での創意工夫された取組状況が紹介されました。運動の結果、平成26年の災害は前年比15%減少し、27年5月末では前年同月比27%減少という大きな成果をもたらしています。

このような状況から、広島労働局では、この運動を広く県内全域で展開し、第12次労働災害防止計画の期限を踏まえ、平成30年3月まで継続し、県内の建設業の労働災害について、目標(「死傷災害15%減少、死亡災害20減少」)の達成を目指すこととしたものです。

詳しくは、建災防広島のホームページ、各分会にあるリーフレット等ご覧ください。

「建設業フィンガー・チェック運動」の趣旨

労働災害防止に從來から幅広く業界で取り組まれている指差確認を県内の建設現場に定着させるとともに、労働者の安全意識の高揚を図り建設現場の安全衛生活動を活性化させ、労働災害の減少を図る。

「建設業フィンガー・チェック運動」の取組期間

平成27年7月1日～平成30年3月31日

「建設業フィンガー・チェック運動」の実施事項

建設事業者に対し本運動を周知し、取組を働きかけることにより、指差確認を県内の建設現場に定着させるための取組を実施する。

具体的な実施方法について、労働局が作成した、フィンガー・チェックの方法を、工種ごと、作業者ごとにフィンガー・チェックの事例「フィンガー・チェック10(10事例)」を示し、事業場が取組を進められるよう周知啓発を行う。

「建設業フィンガー・チェック運動」の宣言の送付、建災防ホームページの掲載

「建設業フィンガー・チェック運動」の取組開始を宣言された店社、現場は取組宣言の例文を参考にして、広島労働局健康安全課又は最寄りの労働基準監督署あて「宣言文」を送付(FAX又は郵送、持参等)することが労働局から要請されています。

また、その際、宣言された店社名、現場名のうち、建災防ホームページに掲載することにご同意をいただいた場合には、労働局から要請を受けて、建災防ホームページに掲載することを予定しています。

いよいよスタート！足場の組立て等特別教育 7月から

労働安全衛規則第36条の規程に基づき平成27年7月1日から、足場の組立て、解体又は変更の作業に係る業務（地上又は堅固な床上における補助作業を除く）に従事する労働者に対し、特別教育規程で定める6時間の特別教育が必要となります。

今まで足場の組立て等の作業経験がある労働者は、平成27年7月1日から2年以内に特別教育を受ければよいという、経過措置があります。また、足場の組立て等の作業経験があれば、6時間の特別教育の短縮版の3時間コースを受けることができます。

平成27年7月1日以降に、初めて足場の組立て等の作業に就く労働者は6時間の特別教育が必要となります。

特別教育Q&A そこが聞きたい！

Q1 足場の特別教育は、講習機関の開催する特別教育を受講しなければいけない？

A1 いいえ、事業主が、特別教育規程に基づき特別教育を実施することもできます。その場合、実施日時、場所、講師、教材、受講者名等記録し、3年間保存義務がありますが、修了証の作成義務がなく、記録を紛失される等心配があります。

建災防は、どこで作業しても提示できる「特別教育修了証」を発行し、紛失された場合に再発行できるよう、台帳を永年保存しています。教育も豊富な講師陣がパワーポイント資料や分かりやすいDVD動画での作業方法など視聴覚教材、建災防作成のテキストなどを使いレベルの高い教育を行います。

Q2 足場の特別教育は18歳未満はどうなる？

A2 満18歳未満の労働者は、年少者基準規則第8条（年少者の就業制限の範囲）で、「足場の組立、解体又は変更の業務（地上又は床上における補助作業の業務を除く）」はできません。したがって、満18歳未満の労働者を足場の組立て等の作業に就かせることができませんので、特別教育を受けたからといって、当該作業はできません。満18歳以上になってから特別教育を受けさせてください。

Q3 足場の組立て等作業主任者の資格を持っているものは、特別教育が必要か？

A3 足場の組立て等作業主任者は、今回の規則改正に伴う通達で、特別教育内容より十分な知識経験があるものとされ、特別教育の全部が省略できます。

したがって、足場作業主任者技能講習の修了証を持っていれば、特別教育を受ける必要がありません。足場作業主任者資格と同様に、とびの1級又は2級の技能検定合格者も、特別教育は不要です。

Q4 足場の特別教育が必要な足場について、高さが決められているか？

A4 いいえ、今回の足場の特別教育には、足場の高さの定めはありません。したがって、軽天作業、電気工事などの脚立を複数使用して足場を載せる脚立足場（脚立単体で使う場合は足場になりません）は、特別教育の対象となります。

現場の仮囲いに労働災害関係成立表等を掲げる場合や、朝礼場の掲示板等に脚立を複数使い足場板を敷いて脚立足場にする作業も対象になり、当該作業をする店社の職員等も特別教育が必要となります。

足場の特別教育を受講すれば「助成金」の対象となる？

足場の特別教育（6時間コース、3時間コース）が、7月1日より、厚生労働省の「建設労働者確保育成助成金」制度の「技能実習コース」の対象となりました。

従来の「技能講習」と同じように、経費助成、賃金助成の申請ができます。

なお、7・8・9月開催分は事後申請可能ですが、10月1日以降は、事前に（1か月前）「計画届」の提出が必要となりますので、ご注意ください。（例えば10月16日の受講の場合、9月16日までに計画届を労働局・ハローワークに提出する必要があります。）

足場特別教育の出張講習も致します！！

建災防広島県支部では、企業単位、協会単位等、団体が集团でとりまとめ開催場所等ご提供いただければ、講師が開催場所に出張して特別教育を行います。

ぜひご相談、ご連絡いただきますようお願いいたします。

第49回広島県建設業労働災害防止大会

と き 平成27年9月14日(月)
 ところ 広島県民文化センターふくやま(福山市東桜町1-21)

大会プログラム

12:00	開 場		
13:20	開 会	黙 禱	副 支 部 長
		開会のことば	支 部 長
		挨拶	福 山 市 長
		歓迎のことば	表 彰 選 考 委 員
		表彰経過報告	支 部 長
		表 彰	受 賞 者 代 表
		謝 辞	広 島 労 働 局 長
		祝 辞	中国地方整備局長
			広 島 県 知 事
			建設業労働災害防止協会長
14:30	安全の誓い 記念講演	副 支 部 長	
			「なぜ、人は誰でも間違えるのか? 職場でのエラーを減らそう!」
			㈱安全マネジメント研究所 代表取締役所長・工学博士
			石 橋 明(いしばし あきら)
16:00(予定)	閉会のことば	副 支 部 長	

(記念講演講師のプロフィール)

石 橋 明 氏(いしばし あきら)
 (㈱安全マネジメント研究所 代表取締役 所長・工学博士)



(経 歴)

- 1969年 中央大学法学部法律学科卒業(法学士)
- 1995年 早稲田大学大学院人間科学研究科社会人入学
- 2008年 東北大学大学院工学研究科博士課程編入学
- 2010年 学位取得により同課程修了(工学博士)
- 1960年 海上自衛隊航空学生入校(卒業後飛行幹部対潜哨戒部隊)
- 1969年 全日空入社
- 1999年 飛行時間19500時間を記録して定年退職
- 1998年 故黒田勲先生らとヒューマンファクター研究所を設立
- 2011年 学位取得後、㈱安全マネジメント研究所を設立、代表取締役所長就任

この間、全日空国際線首席機長等の傍ら、SFS日本支部事務局長、アジアパシフィック航空会社連盟テクニカルチェアマン等のほか、(社)日本航空機操縦士協会常務理事安全技術委員長及び同顧問、退職後は、JR西日本安全諮問委員、JAXA有人サポート委員、中災防東京安全衛生教育センター講師、筑波大学客員研究員、京都大学非常勤講師、東海大学非常勤講師、等を歴任し、産業安全の研究に従事。

学会では、日本人間工学会、日本原子力学会、ヒューマンインタフェース学会、プラントヒューマンファクター学会評議員、計測自動制御学会、失敗学会理事組織行動分科会長、国際経営文化学会等で活動中。

生涯現役をモットーに産業安全の研究活動に励んでいる。

著 書:「事故はなぜ繰り返されるのか」、「リスクゼロを実現するリーダー学」、「パイロット」など。

論 文:「VTA事故分析手法」等、国際・国内学会等で論文を多数発表。

ほかにNHK事故解説なども担当。

平成27年度安全指導者研修会が開催されました

建災防広島県支部は、去る6月17日(木)午後1時より5時まで、広島市中区の広島パシフィックホテルにおいて、66名が参加し、平成27年度の安全指導者に対する研修会を実施しました。

今回は、まず広島労働局健康安全課作田達也安全専門官より「建設業の労働災害と防止対策」「平成27年度の安全衛生行政の重点事項について」と題し、建設業の労働災害の発生状況と特徴、防止対策、7月に改正される労働安全衛生規則による足場の規制強化内容、交通災害防止対策などについて、資料を示しながら説明を受けました。

次に建災防本部の山崎弘志主任安全管理士より、「安全パトロールの視点」として、安全パトロールを実施するにあたり現場での問題ある措置状況、ルール違反の作業状況を、足場、足場側面防護措置、脚立、通路、開口部、型枠土止め支保工等様々な「不安全」状態の写真を示しながら豊富な知識・経験を基に、指導者のために分かりやすい指導をしていただき、受講者から大変好評をいただきました。

最後に、落合正典広島中央監督署長から「フィンガー・チェック運動の取組について」と題し、急増した管内の建設業の労働災害を減らすため、建災防広島分会、広島労務研究会等と協議し、取組が簡単で誰もが参加でき、個々の作業者が自ら安全確認ができる、指差呼称を「フィンガー・チェック」と名付けて、会員企業の現場活動に取り入ところ、平成26年と、本年5月末現在、大幅に災害が減少した経過を報告され、県内全域で取り組んでほしいと熱心に訴えられました。



研修会風景



講師 作田達也安全専門官



講師 山崎弘志主任安全管理士



講師 落合正典広島中央監督署長

災害事例

林道災害復旧工事において法面（のりめん）が崩壊し、岩石とドラグ・ショベルの間に挟まれる

【災害の概要】

工事の種類：道路建設工事

事業場規模：16～29人

起 因 物：地山、岩石

災害の種類：土砂崩壊

事故の型：崩壊、倒壊

被災者数：死亡：1名 休業：1名



【災害発生状況】

この災害は、集中豪雨により崩壊した林道脇の地山法面災害復旧工事において、地山の掘削作業中、土砂崩壊が発生したものである。

作業を行っていた林道脇の地山の地層は砂岩で形成されていて、法面はモルタル吹付けによって保護がなされていたが、集中豪雨によってモルタル吹付け部がはく離して、地盤表層部とともに部分的に崩壊したので、オーバーハング状態で残った部分を切土（きりど）整形し、吹付け枠工を設置する工事が地方公共団体から発注され、X社が請け負った。

災害発生当日、作業は法面上部で削岩機を使用し、下部ではドラグ・ショベル（以下「ショベル」という。）を使用して同時に掘削する方法で行っていた。

法面中段まで切土整形したところで、一日の作業がほぼ終わったので、現場代理人Aが作業終了を告げた直後に、突然法面の崩壊が発生し、法面下部でショベルにより掘削をし

ていたAが崩壊してきた岩石とショベルの間に挟まれ死亡した。

また、法面上部の法肩で人力掘削をしていた作業員Bは、足元の崩壊した岩石とともに約20m転落し、上から落下した岩石が当たり右肩を骨折した。

【災害発生原因】

この災害の原因としては、次のことが考えられる。

- 1 地山には、ながれ盤となっているところがあり、湧水も認められたことから、この面に沿って風化した表層部の岩塊が一挙に滑り落ちたと考えられる。更に、地山が豪雨のためにゆるんでいたところを、オーバーハング状態のまま掘削したことが原因と考えられる。
- 2 地山の崩壊のおそれがあったにもかかわらず、法面上部と法面下部において同時に掘削作業が行われていたこと。
- 3 工事の作業計画が作成されておらず、作業箇所の調査、点検も十分に実施されていなかったこと。
- 4 人力掘削作業に使用していたエアピックとエアブレーカーの振動が地山の崩壊に影響したと考えられる。

【再発防止対策】

同種災害の防止のためには、次のような対策を徹底する必要があると考えられる。

- 1 予め、地山の状態を調査し、安全対策等を盛り込んだ作業計画を作成し、それに基づいて作業を行うこと。特に、オーバーハングとなっている岩塊など崩壊のおそれがある場合には、地山の上部から安全を確保しながら切土（きりど）していく等の安全な工法を採用すること。
- 2 法面の上部と下部で同時に掘削等の作業を行わないこと
- 3 作業開始前に作業箇所の点検を必ず実施し、その結果に基づいた作業計画の修正、安全対策などを実施すること
- 4 現場の安全推進担当者を指名し、安全管理体制を確立するとともに、関係作業員に対して、予め安全衛生教育を行い、安全な作業手順などについて周知徹底を図ること。

平成26年・27年 建設業における事故の型別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成27年5月末)

事故の型別	墜落転落	転倒	激突	飛来落下	崩壊	激突	はね巻き	切れこすれ	踏み抜き	高温・低温の物の接	有害物質との接	感電	火災	交通事故	動作の反動	その他	合計
平成26年	44	12	3	14	2	(1)9	(1)13	12	1	1	0	0	0	7	5	1	(2)124
平成27年	45	12	6	9	2	3	12	7	0	0	0	0	0	4	6	0	(0)106

()内は、死亡の内数

平成26年・27年 全産業・建設業・署別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成27年5月末)

監督署別	全 産 業							建 設 業								
	平成26年			平成27年			増減数	平成26年			平成27年			対前年増減数 (%)	対前年増減数 (%)	建設業 / 全産業 (%)
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計			
広島中央	4	255	259	1	293	294	35	1	36	37	0	27	27	-10	-27.0	9.2
呉	1	80	81	1	87	88	7	0	12	12	0	9	9	-3	-25.0	10.2
福 山	2	215	217	3	168	171	-46	0	28	28	0	21	21	-7	-25.0	12.3
三 原	1	51	52	1	48	49	-3	1	4	5	0	9	9	4	80.0	18.4
尾 道	1	61	62	1	69	70	8	0	8	8	0	10	10	2	25.0	14.3
三 次	2	80	82	0	55	55	-27	0	10	10	0	7	7	-3	-30.0	12.7
広島北	0	99	99	0	110	110	11	0	13	13	0	17	17	4	30.8	15.5
廿日市	0	72	72	1	91	92	20	0	11	11	0	6	6	-5	-45.5	6.5
合 計	11	913	924	8	921	929	5	2	122	124	0	106	106	-18	-14.5	11.4

分会だより

分会長が交替されました

平成27年度の分会総会で、呉分会、尾道分会の分会長が交替され、下記とおり新分会長にバトンが渡されました。

呉分会の三木能章前会長様は、平成11年5月より16年間、尾道分会の三鼓勝美前分会長様は、平成16年5月より11年間、それぞれ長期間にわたり分会長の要職を務めてこられました。

この間、建設業をめぐる厳しい経営環境の中、分会運営、分会活動の実施に大変なご苦労があったことと存じます。お二人の長年にわたるご努力に対し、改めて感謝とお礼を申し上げます。

	旧分会長氏名 (会社・職名)	新分会長氏名 (会社・職名)
呉分会	三木 能章 (株増岡組取締役相談役)	濱井 雅彦 (三栄建設株代表取締役)
尾道分会	三鼓 勝美 (シントカ建設株代表取締役)	中島 秀晴 (三和鉄構建設株代表取締役)

平成27年度講習計画

(平成27年7月～平成27年10月末までの計画)

建設業労働災害防止協会広島県支部

建設工事に従事する労働者のための安全衛生教育
「建設従事者教育」(6時間)
*要請により、随時実施(支部)

作業主任者・運転技能講習の日程

足場の組立て等 7月23～24日 29～30日 8月6～7日 9月29～30日 10月27～28日	実施場所 福山市 広島市 尾道市 呉市 広島市	担当分会 福山 広島	地山の掘削及び土止め支保工 7月15～17日 10月20～22日	実施場所 福山市 広島市	担当分会 福山 広島	酸欠・硫化水素危険 9月4～5・7日	実施場所 広島市	担当分会 支部
			コンクリート造の工作物の解体等 8月6～7日	実施場所 福山市	担当分会 福山	コンクリート橋架設等 8月4～5日	実施場所 広島市	担当分会 広島
型枠支保工の組立て等 8月27～28日 10月7～8日	実施場所 呉市 広島市	担当分会 呉 広島	鋼橋架設等 9月8～9日	実施場所 広島市	担当分会 広島	木造建築物の組立て等 8月25～26日	実施場所 広島市	担当分会 広島
						建築物等の鉄骨の組立て等 9月2～3日	実施場所 福山市	担当分会 福山

特別教育等の日程

巻上げ機運転業務 8月19日 10月23日	実施場所 広島市 福山市	受付分会 広島 福山	低圧電気取扱業務 7月23日	実施場所 呉市	受付分会 呉	自由研削砥石取替え等業務 10月14日	実施場所 広島市	受付分会 広島
丸のこ取扱い作業 8月4日	実施場所 福山市	受付分会 福山	振動工具取扱作業 10月2日	実施場所 福山市	受付分会 福山	アーク溶接等業務 10月8～9日	実施場所 福山市	受付分会 福山

足場の組立て等特別教育(3時間)

開催日 7月15日 21日 25日 28日 30日	実施場所 呉市 尾道市 三次市 広島市 福山市	受付分会 呉 尾道 三次 広島 福山	開催日 8月6日 10日 20日 25日	実施場所 広島市 福山市 広島市 呉市	受付分会 広島 福山 広島 呉	開催日 9月4日 13日 16日 25日 10月16日 29日	実施場所 三次市 広島市 呉市 広島市 福山市 広島市	受付分会 三次 広島 呉 広島 福山 広島
--	--	-----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	-----------------------------	---	---	---

統括・職長等各種教育の日程

職長・安全衛生責任者教育 7月22～23日 9月16～17日 28～29日	実施場所 広島市 広島市 福山市	受付分会 広島 広島 福山	現場管理者統括管理 8月4日	実施場所 三次市	受付分会 三次	車両系(整地等)運転業務従事者教育 7月14日 8月20日	実施場所 三次市 福山市	受付分会 三次 福山
安全衛生推進者教育 8月27日	実施場所 尾道市	受付分会 尾道	足場能力向上教育・足場点検実務者研修 8月5日	実施場所 呉市	受付分会 呉	足場能力向上教育のみ 9月8日	実施場所 福山市	受付分会 福山

*詳細につきましては、支部及び各分会にお問い合わせください。
なお、定数に満たない場合は中止、または、延期する場合があります。

建災防広島県支部(082)228-8250

広島県支部各分会

広島分会(082)228-8252
呉分会(0823)22-6886
福山分会(084)924-4320

三原分会(0848)63-9920
尾道分会(0848)22-8918

三次分会(0824)62-4391
廿日市分会(0829)31-0196

ホームページアドレス

建災防広島県支部 <http://www.jcosha-hiroshima.jp/>
建災防広島県支部広島分会 <http://www.jcosha-hiroshima.jp/hiroshimabunkai/>
建災防広島県支部福山分会 <http://fukubun.sakura.ne.jp/>
建災防広島県支部三次分会 <http://ww7.enjoy.ne.jp/~khm62/>